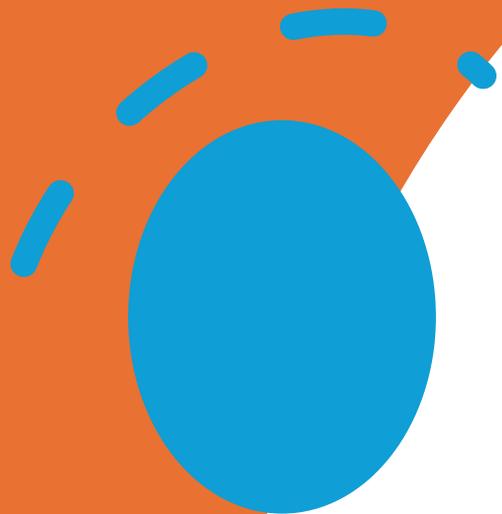


第12分科会
『就労継続支援A型で
「厚生労働省編一般職業適性検査」
を用いて自己理解を深め、
一般就労へ向けた支援の一事例』

ヴィストジョブズ金沢入江
職業指導員 中島実優



1 はじめに

倫理的 配慮

なお、本発表に際し、個人情報における適切な取り扱い及び、研究上の倫理的配慮を行い、本人・保護者・所属機関・関係機関の同意を得ており、特定組織・個人との利益相反関係はない。

(1)事業所概要

ヴィストジョブズ金沢入江 ⇒就労継続支援A型事業所

【A型事業所の概要】

- ・雇用契約を結ぶ。
(⇒最低賃金が保証される。)
- ・一般就労を目指す。



各々

【利用者】

それぞれの目標に向けて、
日々業務を通して訓練する。

【指導員】

それぞれの目標に向けて
伴走していく。

業務内容

【清掃】

物件・工場・ビル清掃

【佐川サテライト】

ピッキングや梱包など





【施設内】

- 音声合成データ編集
- あぶらとり紙の選別
- アクセサリー作成など

(2) 対象者概要

- 障害診断名：双極性障害
- 性別：女性
- 年齢：37歳
- 利用年数：4年11か月

対象者 Story

14歳：うつ病と診断

18歳：双極性障害と診断

卒業論文提出後、倒れる。

⇒2年間入院。

退院後、

就労継続支援B型事業所にて働く。

「もっとできる」という思いを抱く。

⇒就労継続支援A型事業所を選択。

現在

【作業】

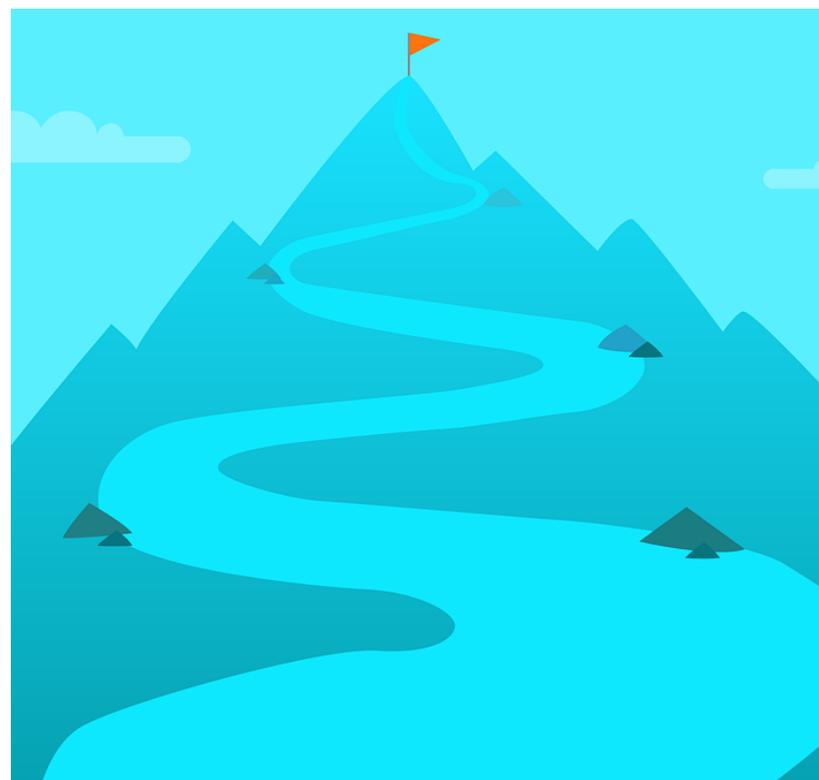
- あぶらとり紙の選別作業
- 音声データ編集作業
などに従事する。

【現状】

- 現在は勤怠が安定している。
- 真面目で素直、
とても優しい性格。

(3) 対象者の目標とその背景

【対象者の目標】
自己理解を深め、
一般就労する。



背景

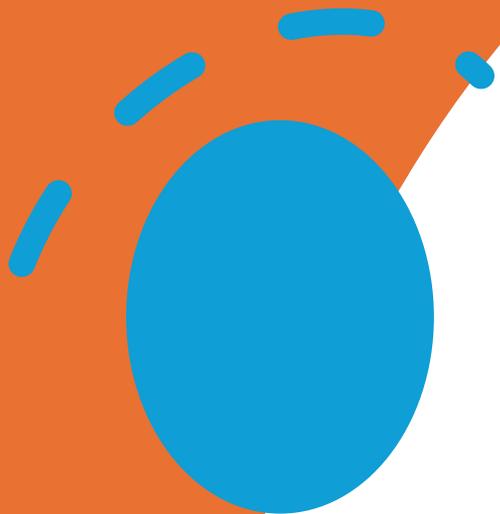
自身の適性が理解できていないという思いがある。



職業適性検査にてフォーマルアセスメントを行い、自身の適性を理解する。



それを踏まえたうえで一般就労を目指す。



2 適性検査

(1) 検査方法

I県の障害者職業センターにて、
厚生労働省編一般職業適性検査を行う。

■職業評価の検査方法

- ・GATB
- ・16課題版 MWS 簡易版

GATB

【目的】

能力にあった職業の適性評価。

【紙筆検査】

⇒筆記での検査

【器具検査】

⇒器具を使用し、
手先や指先の器用さを検査。

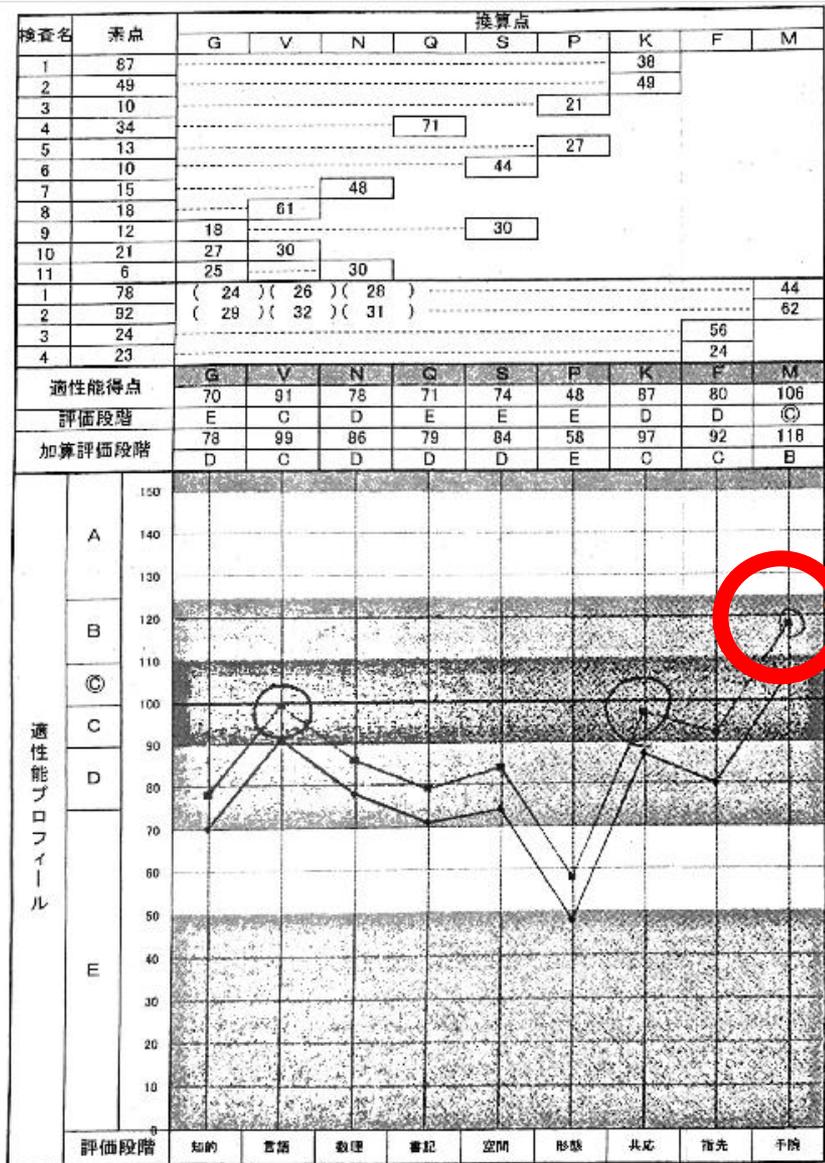
16課題版 MWS 簡易版

【目的】

実務を想定した職業適性評価。



(2) 結果

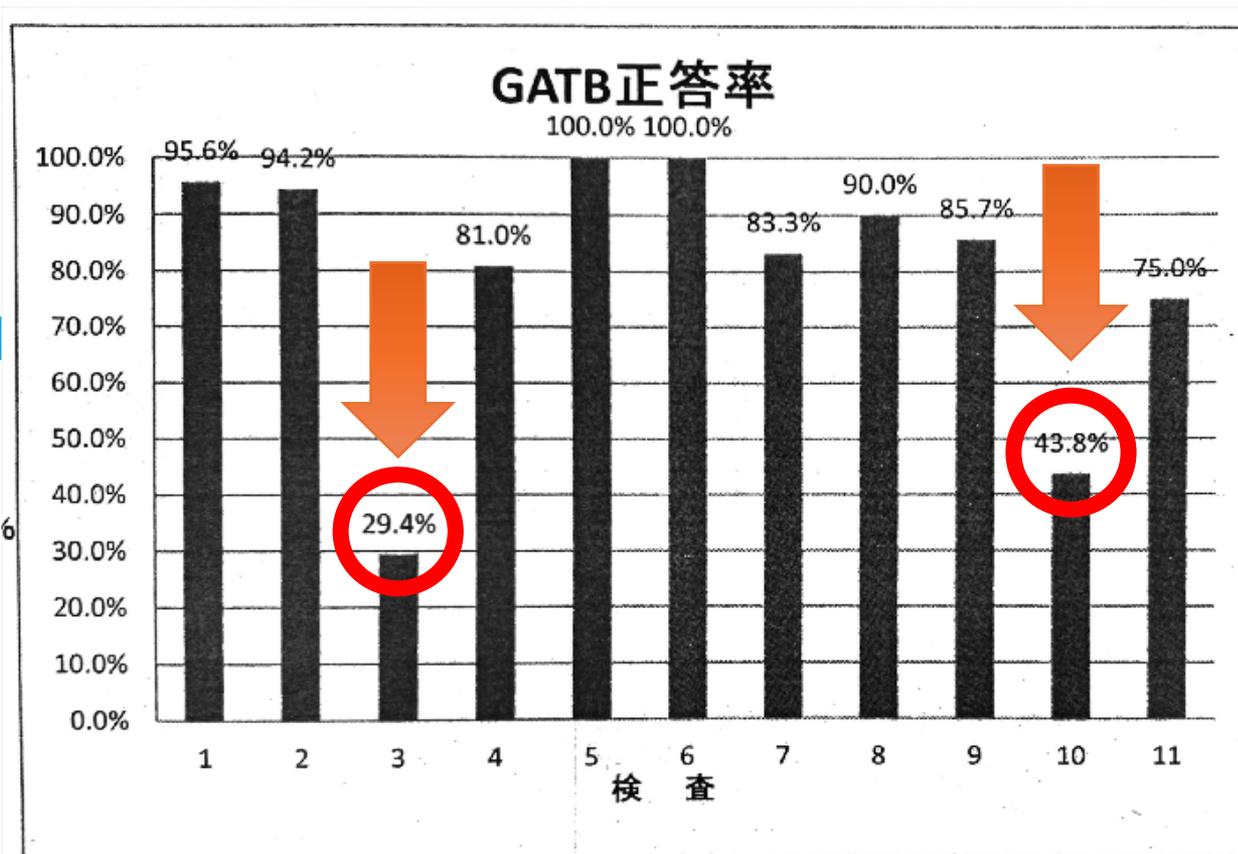


【適性があるもの】

手腕



手腕や手首を巧みに動かす能力



問題の読み飛ばしにより、正解率の低下。
 ⇒特性としてうっかりミスが傾向としてある。

支援の全体像①

課題

うっかりミスが多い。



見立て

作業の可視化⇒ミスの減少。



目標

ミスを減らし、能力を発揮する。



取組

チェックリストにより作業を可視化。

支援の全体像②

取組後

課題の解決。



変化

自己肯定感、自信の高まり。

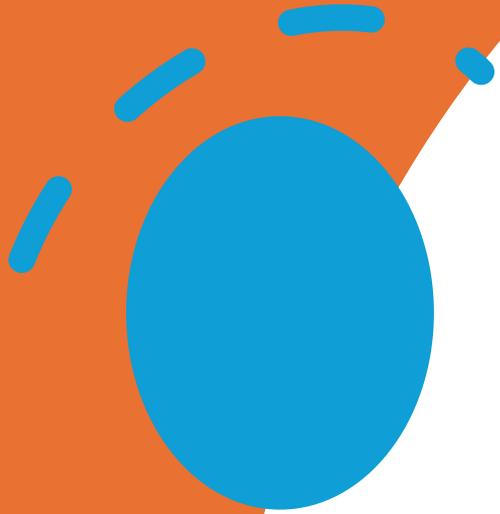


歩み

実習を行う。



自己理解を深め、一般就労へと歩んでいく。



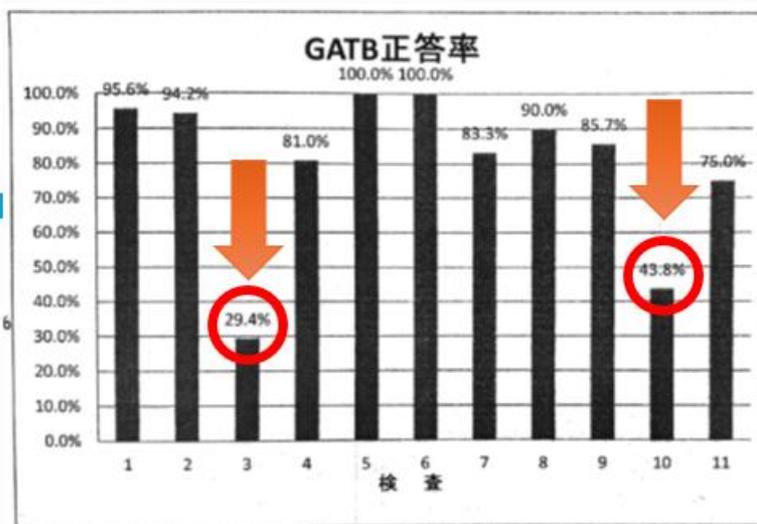
3 介入方法

～チェックリストの活用～

【特性】

うっかりミスが多い。

適性検査

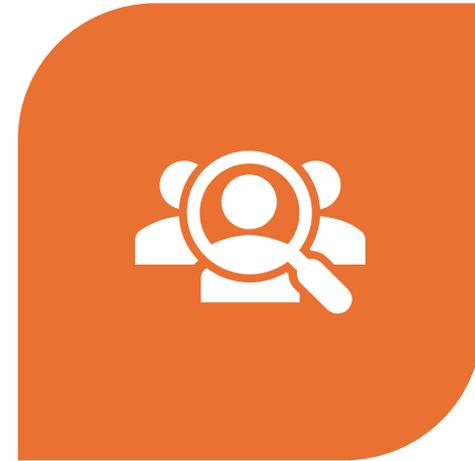


問題の読み飛ばしにより、正解率の低下。

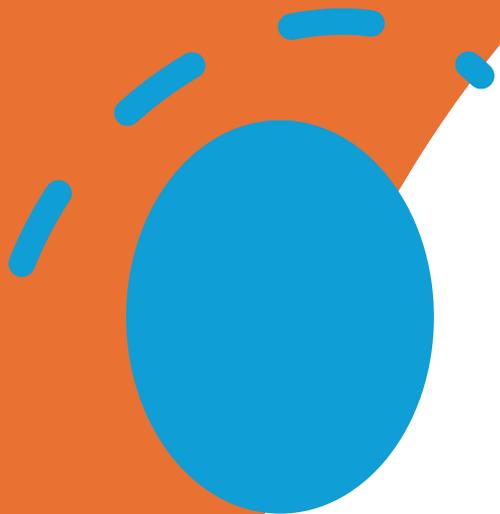
訓練方法



・作業チェックリストを使用する。



・対象者に合わせて変化していく。



4 介入結果

あぶらとり紙の選別作業【変更前】

⇒企業からフィードバックをもらうことが続く。

評価指標		評価(上段:自己評価 下段:スタッフ評価)				
1	机を清潔な状態で始めることが出来ているか ※飲食厳禁、紙が濡れる可能性のあるもの排除	1	2	3	4	5
2	指サックを使うことが出来ているか	1	2	3	4	5
3	道具を正確に設置し作業が行えているか	1	2	3	4	5
4	角をそろえることが出来ているか 茶紙:左下 化粧紙:右上	1	2	3	4	5
5	不良品の判別がついているか	1	2	3	4	5
6	結びの作業が出来ているか	1	2	3	4	5
7	一人で一連の作業が出来ているか	1	2	3	4	5
8	目標の時間通りに作業が行えているか (目安:1束2H)	1	2	3	4	5

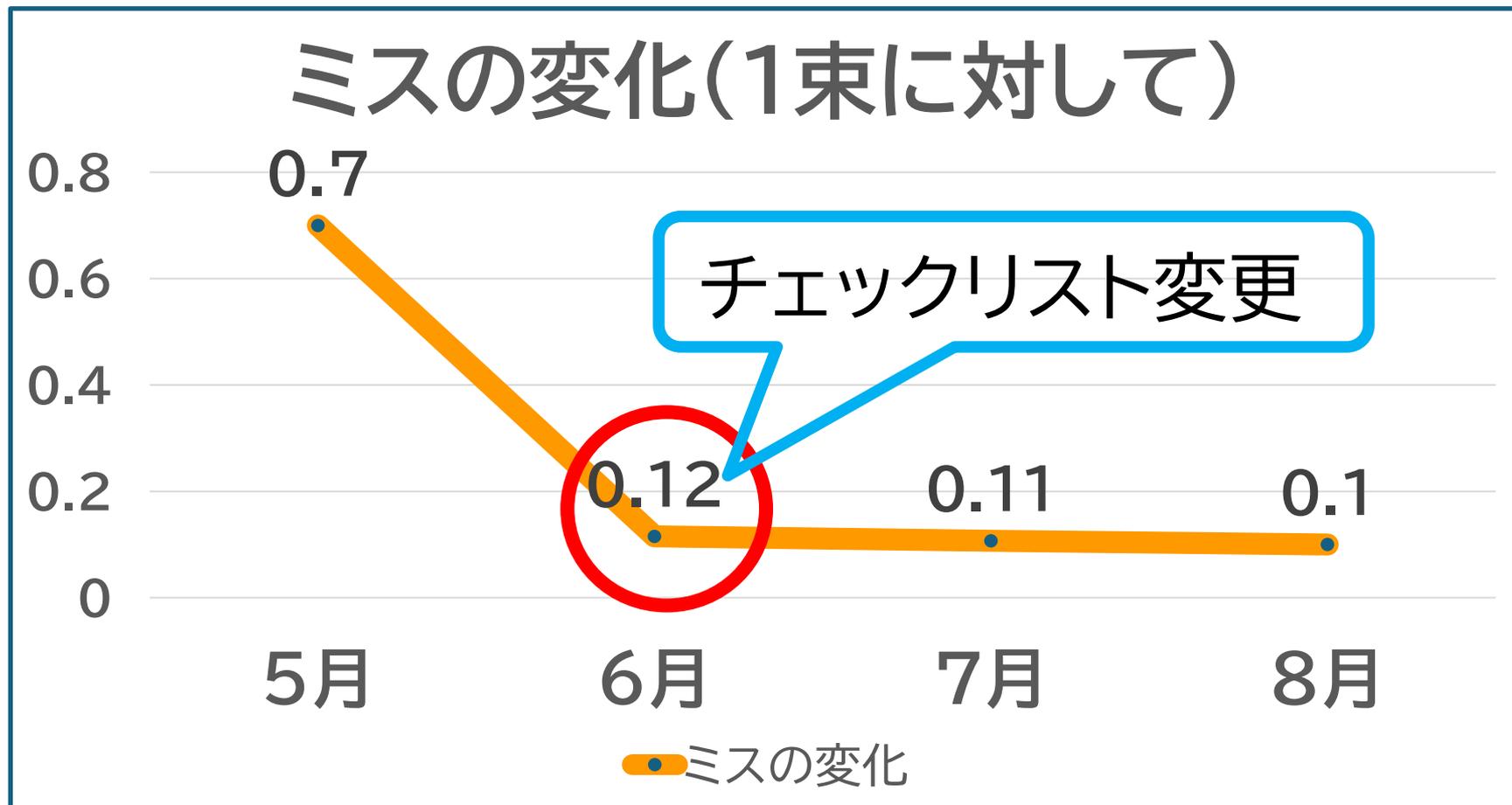
自己評価では、作業行動に沿ったものでないため、チェックがしにくいことが判明。
⇒作業行動に沿ったチェックリストに変更。

あぶらとり紙の選別作業【変更後】

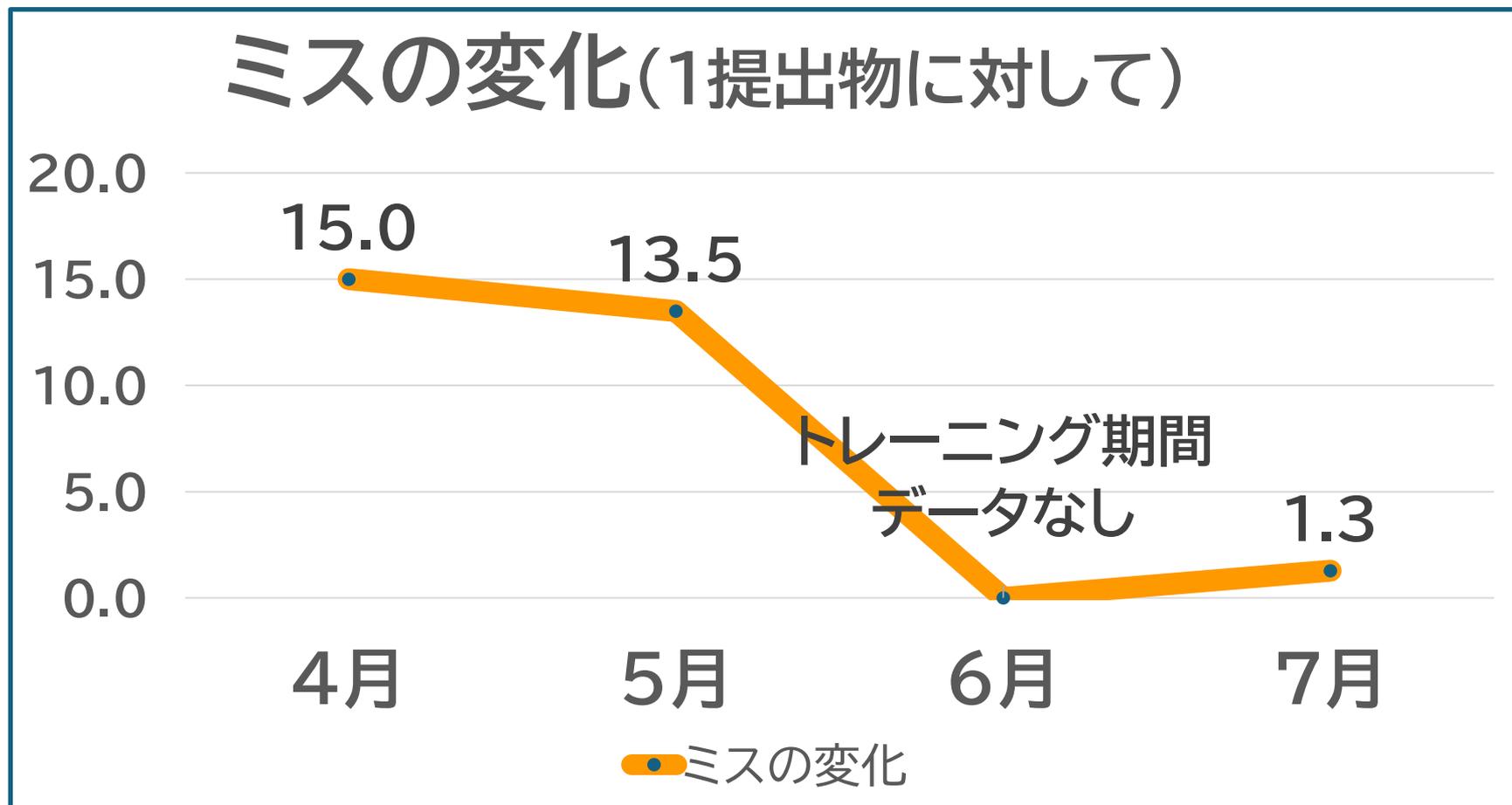
⇒作業行動に沿ったチェックリストに変更

	日付: (束目)	確認
1	道具を正確に設置し作業が行えているか	
2	角をそろえることが出来ているか (茶紙:左下/化粧紙:右上)	
3	キツく結ぶことができていないか (揃えた角が崩れることを防ぐ)	
4	名前欄の書き間違いがないか	
5	茶紙に化粧紙が混ざっていないかを 確認する	

【あぶらとり紙の選別作業】



【音声データ編集作業】



チェックリストを活用して

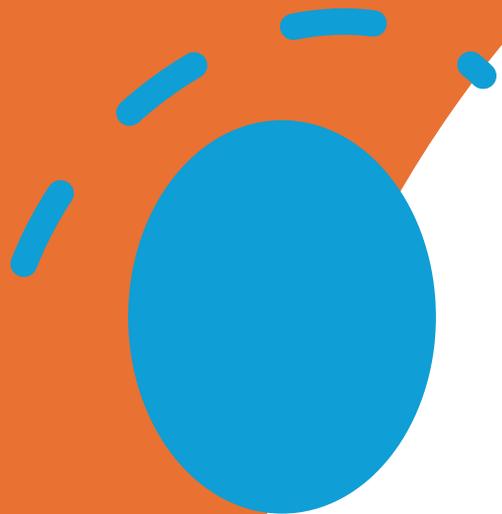
チェックリストを使用

ミスの減少

自己肯定感の高まり・自信

職場実習へ

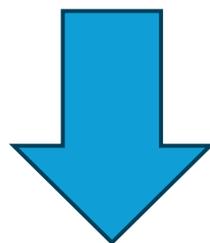




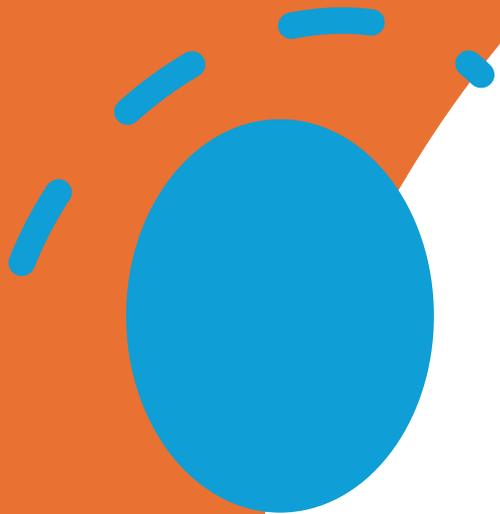
5 職場実習

職場実習を終えて

いつもと異なる作業や環境で
得意・不得意の理解



自己理解の深まりを実感



6 考察

まとめ

適性や特性の理解

特性への対策・改善

自己肯定感の高まり・自信

一般就労への意識向上

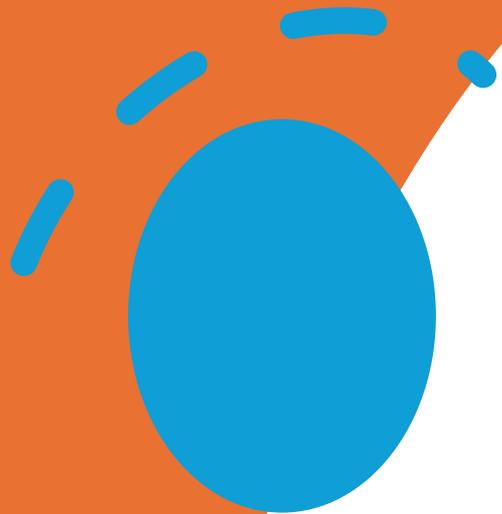
考察

一般就労に向けた取り組みとして

自身の
適性を知る

自己理解を
深める

上記が必要であることが考察される。



7 今後の課題

今後の取り組み

①自身でチェックリストの作成を行う。

②自己理解を深めるために、
講座や企業見学・実習に参加する。

日々指導と支援を行い、
より対象者の目標である
一般就労に向けて伴走していく。